

|       |   |      |  |
|-------|---|------|--|
| 区分・種別 | 県指定有形文化財（考古資料）  |      |  |
| 名称    | ほそがたどうけん<br>細形銅剣 1口   |      |  |
| 所在地   | 西条市丹原町今井  |      |  |
| 所有者   | 福岡八幡神社  | 管理団体 |  |
| 指定年月日 | 昭和34年3月31日  |      |  |
| 解説    | <p>この銅剣は大正5（1916）年、丹原町願蓮寺字扇田で泉を掘り下げている際に、地下約60cmの所で発見されたものである。</p> <p>全長34.2cm、<sup>なかご</sup>茎の長さ2cm、厚さ1.1cm、<sup>まち</sup>区より2.5cm上の<sup>しのぎ</sup>鎬の左右に孔が設けられている。区幅3.8cm、最大幅4.5cm、重さ280gである。</p> <p>県内では多数の平形銅剣が広範囲で出土しているが、この銅剣は、その中でも最も古く、朝鮮半島から渡来したものと考えられている。</p> <p>九州では細形銅剣が多いが、この銅剣は分類上は中細形に属し、現在のところ、中細形銅剣としては県内唯一のものである。</p> |      |  |

